

発行者／伊賀市立上野総合市民病院

三重県伊賀市四十九町831番地 TEL. 0595-24-1111(代表) FAX. 0595-24-2268

<https://www.cgh-iga.jp/>

ご自由に
お持ち帰りください



退任のご挨拶「13年ぶりに黒字になります」

院長 三木誓雄

2011年より院長としての職務を任せていただいておりますが、2018年度をもって退任させていただくことになりました。本来ならば皆さまお一人お一人にお会いして、お礼を申し上げるべきところ、この場を借りてお礼を申し上げますこと、お許しください。



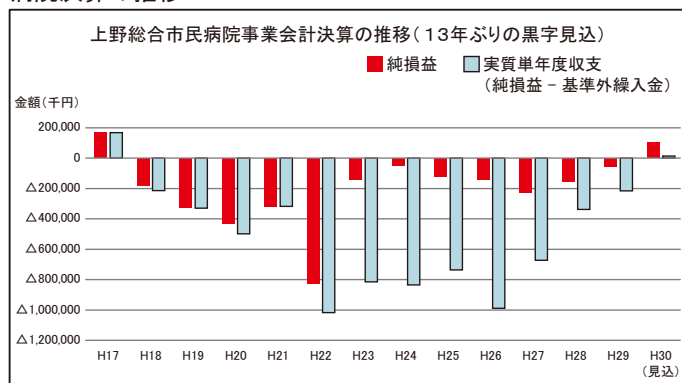
この8年を思い返してみると、赴任した当時、当院は地域基幹病院としての存在意義を問われるような状況でした。現在稼働している全5病棟のうち、3病棟は閉鎖され、全入院患者数は60名に満たない状態でした。救急車を受け入れることはできても、入院治療が必要な時は、救急外来の患者さんをそのまま他院へ搬送するという状況でした。それはあたかも動力機関が停止し、多くの乗務員も失い、荒海に漂う難破船の様でした。私に与えられた役割は、難破船を兎にも角にもドックへ曳航し、船体に修理を施し、さらに乗員を訓練し、どんな荒海にも出帆できるようにすることでした。そして昨春、病棟再開発計画が完了し、病院経営の根幹となるDPCシステムを導入できたことで、長年試行錯誤してきた動力機関と船体の修復も完成しました。いよいよ港を出て新しい航海に舵を切る時期が近づいていると実感できるようになったのもこの頃です。そしてその頃から、新たな未知の航海を導くべき者は自分ではなく、自分とは異なる航路図を持つ若い船長である、と思うようになりました。

「肯定の繰り返しは信念につながる。その信念が深い確信になると、物事が実現し始める」これはモハメド・アリの言葉です。彼はベトナム戦争の徴兵拒否によって試合を長期間禁止され、その結果ヘビー級王座を失いました。しかしその7年後、当時史上最高のハードパンチャーと評されたジョージ・フォアマンに挑み、奇跡的な逆転勝利で王座に返り咲きました。この言葉は試合後に彼が語ったものです。この8年間、長く曲がりくねった道でしたが、当院スタッフは決して逃げださずに踏みとどまり、自らを否定することなく信念を確信に変えてきたのだと思います。私自身、たとえ今は難破船でも、いつか必ずフラッグシップとして再び荒海へ突き進むことができる、と確信してきました。

今後は、新しい船長のもと、新たな目的地を目指す姿を違う場所から楽しみに追いかけていきます。最後になりましたが、赴任当初、地域で救急を担当する近隣の施設にご支援いただいたこと、心より感謝いたします。また同時に、多大なご迷惑をおかけしたことも、心よりお詫び申し上げます。しかしながら、予想以上の速さで診療レベルを向上させ、さらに収益を大幅に改善させた、医療系、事務系全職員を誇りに思います。地域の皆様にも是非お褒めいただきたいと思います。

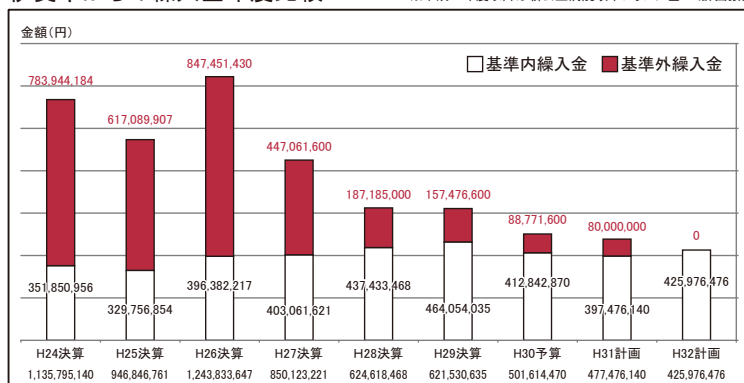
長くなりましたが、当院の再生に尽力してくださった、院内外のすべての方々に感謝しつつ筆を置きます。8年間、本当にありがとうございました。新たな市民病院を引き続き応援していただきますよう、お願い申し上げます。

病院決算の推移



伊賀市からの繰入金年度比較

※平成31年度以降は新公立病院改革プランに基づく計画数値



外科部長赴任紹介

1月より当院赴任、外科部長ならびに救急救命センター長を拝命しました吉山と申します。

12月までは三重大学消化管外科で病棟医長、外来医長を歴任し、主に現場の責任者として食道癌、胃癌に対する鏡視下手術の執刀や入院、外来での化学療法を手掛けてまいりました。また胃癌に対する臨床試験としてセンチネルリンパ節ナビゲーション手術(術中リンパ節転移診断に基づく縮小手術)や胃癌、食道癌に対するロボット支援下手術の導入などにも関わってきました。救急に関しましては、多発外傷や消化管穿孔など腹部救急領域の手術を中心となって執刀してきております。

すでに当院赴任後、胃癌におきましては三重大学と同様の鏡視下手術や化学療法を開始しております。食道癌手術に関しましては10時間を超える大手術でありますので、まずは大学病院との連携から開始しております。

私は消化器外科医でありますので、救急に関しましては手術を中心とした役割となると考えておりますが、救急科専門医である副センター長の原医師とともにさらに充実させていきたいと考えております。

市民病院の使命は、市民の生活の質の向上と考えておりますので、それに貢献できるよう頑張っていきたいと考えております。

外科部長・救急救命センター長 吉山繁幸



より安全に手術麻酔を受けていただくために

非常勤麻酔科医の神取です。平成29年7月より週1回、平成31年1月から週3回となりました。主な勤務先は愛知医科大学病院で11年間、麻酔、救命救急センター、集中治療室を兼務、岐阜県中津川市民病院麻酔科に14年間勤務しておりました。また、地域医療、緩和医療、在宅医療などに関わりながら麻酔科医として30年が過ぎ8,000症例を超える麻酔を行っております。

日本の医療の進歩は目を見張るばかりですが「100%安全な麻酔」は、残念ながらありません。麻酔に「大きな麻酔」とか「小さな麻酔」などありません。人それぞれ手術侵襲や麻酔薬の影響などで様々な反応が現れるからです。



最近の麻酔監視モニターは、より多くの体の状態を知る事ができるようになってきました。麻酔科医として麻酔技術の向上と知識を高め、得られる体の状態を的確に判断し対応する事で手術を受けられる方や担当医が安心できる麻酔管理に努めて参ります。

麻酔科医 神取慶治

感染対策の推進と出前講座について

認定看護師とは、高度化し専門分化が進む医療の現場において患者・家族によりよい看護が提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら「実践・指導・相談」を行うことが役割とされています。

私は感染管理分野の認定看護師として感染防止対策室で勤務しています。

院内では、患者さんやご家族をはじめ、職員を含む病院に関わるすべての人々を感染から守るために、手指衛生の徹底や清潔な療養環境の整備などを行っています。

また、地域においても、地域の様々な方と関わりながら、感染対策意識が向上することを目的に、出前講座や施設などへのラウンドを実施しています。

出前講座などのお問い合わせは、病院総務課へご連絡下さい。

感染認定看護師 前田きよ美



MRI が新しくなります

当院では本年4月より世界初のデジタルコイルを搭載したPHILIPS社製の最新鋭MRIを導入します。この技術によってノイズの少ない高画質な画像が撮影出来るようになり、今まで以上に小さな病気の診断を正確かつ迅速に行えると期待しています。また従来、長時間を要したMRI検査ですが最新の高速撮影技術により大幅な検査時間の短縮が見込まれます。もう一つ大きな特徴として、MRIのトンネル(検査スペース)が広がったことです。以前の装置はトンネルの直径が55cmでしたが導入予定の装置では70cmとなり、狭い空間が苦手な患者さんや体格の大きい患者さんにとって、検査時の圧迫感軽減が期待されます。しかしながら、最新鋭の機器になっても患者さんにとって検査時の不安は変わりません。何かありましたら遠慮なくお尋ね下さい。



者さんや体格の大きい患者さんにとって、検査時の圧迫感軽減が期待されます。しかしながら、最新鋭の機器になっても患者さんにとって検査時の不安は変わりません。何かありましたら遠慮なくお尋ね下さい。

放射線技術課(診療放射線技師) 植田浩充

伊賀市立上野総合市民病院 外来診療表

(平成31年3月1日～)

【受付時間】午前8時30分～11時30分まで 【診察時間】午前9時～正午まで ※4月1日から外来診療表を変更しますのでお確かめください。

※受付時間の異なる診療科があります(※)内をご参照ください。又()内の時間表示は診察時間となります。

※臨時に休診になる場合、診療表が変更になる場合がありますので事前にご確認ください。 は常勤医師 は常勤女性医師

診療科	曜 日	月	火	水	木	金
内 科	1診	(総合診療科) 田中 光司	(総合診療科) 三木 晋雄	栗原 眞行	(総合診療科) 三木 晋雄	(総合診療科) 田中 光司
	2診	北原 義介	栗原 眞行	北原 義介	(予防接種外来) 北原 義介 [予約制](14:00～15:00)	(総合診療科) 中西 丈比佐
外 科	1診	三枝 晋	田中 光司	田中 光司	田中 光司	三枝 晋
	2診	吉山 繁幸		吉山 繁幸		原 文佑
	3診					
(肛門外来)		田中 光司	田中 光司	田中 光司	田中 光司	田中 光司
(ヘルニア外来)		三枝 晋	三枝 晋	三枝 晋	三枝 晋	三枝 晋
(乳腺科)				毛利 智美		毛利 智美
消化器・肝臓内科	1診	八尾 隆治	加藤 孝太	関西医科大学 交代制	八尾 隆治	加藤 孝太
	2診	青野 祐樹 (10:00～12:00)	榎木 一仁	榎木 一仁	斉藤 康晴	青野 祐樹
(肝胆膵外科)		櫻井 洋至 (三重大)				
循環器内科		宮田 和明	八木 典章 (滋賀医大)	宮田 和明	澤山 裕一 (滋賀医大)	山本 孝 (滋賀医大)
(ペースメーカー外来) [予約制・第3木曜日](13:00～15:00)					宮田 和明	
神経内科			北原 義介		北原 義介	北原 義介
腫瘍内科	1診	岩田 崇	岩田 崇 (予約制)	小田 裕靖 (三重大)	岩田 崇 (予約制)	奥川 喜永 (三重大)
	2診				(緩和ケア外来) 交代制[予約制・午後]	
(呼吸器科)		賀来 良輔、岡本 圭伍 (2名とも滋賀医大)(交代制)	寺本 晃治 (滋賀医大)			
(糖尿病内科) (第2・第4火曜日)			浜島 信之 (名古屋大)			
(腎臓内科) (13:00～15:30)			清水 浩一			
整形外科 (※8:30～11:00)	1診	石黒 茂夫	佐藤 昌良	手術日	石黒 茂夫 (10:00～11:30)	池村 重人
	2診		池村 重人		佐藤 昌良 (10:00～11:30)	
	午後		ギプス外来			
泌尿器科				神田 英輝 (三重大)		
脳神経外科		第1 中澤 拓也 第2・4・5 設楽 智史 第3 野崎 和彦 (3名とも滋賀医大)	新阜 宏文		新阜 宏文	新阜 宏文
(心臓血管外科) (10:00～12:00)				榎本 匡秀 (滋賀医大)		
婦人科				三重大学医師 交代制		
耳鼻咽喉科 (※8:30～11:00)		竹内 万彦 (三重大)				
眼 科 (※8:30～11:00)			布目 貴康 (三重大)			
皮膚科 (※13:00～15:30)			山本 晋也 (三重大)			
(炎症性腸疾患外来) 第2月曜日		安藤 朗 (滋賀医大)				
(もの忘れ外来) (月1回)(14:00～16:00)						赤津 裕康 (名古屋市立大)
(小児外科) (第4火曜日)(13:00～16:00)			内田 恵一 (三重大)			

伊賀市立上野総合市民病院

〒518-0823 三重県伊賀市四十九町831番地

電話 0595-24-1111(代表)

FAX 0595-24-2268

【地域医療】

【連携室・直通】

電話 0595-41-0061

FAX 0595-41-0068

※整形外科の水曜日の初診は、救急外来にて対応させていただきます。